

AWS Client VPN で作るリモート接続環境①

2020年8月21日 2021年7月7日

目次

1. はじめに
2. 経緯
3. そもそも VPN って・・・
4. 今回の構成
5. 構築期間
6. 料金（2020/08/17 時点）

はじめに

こんにちは。米須です。

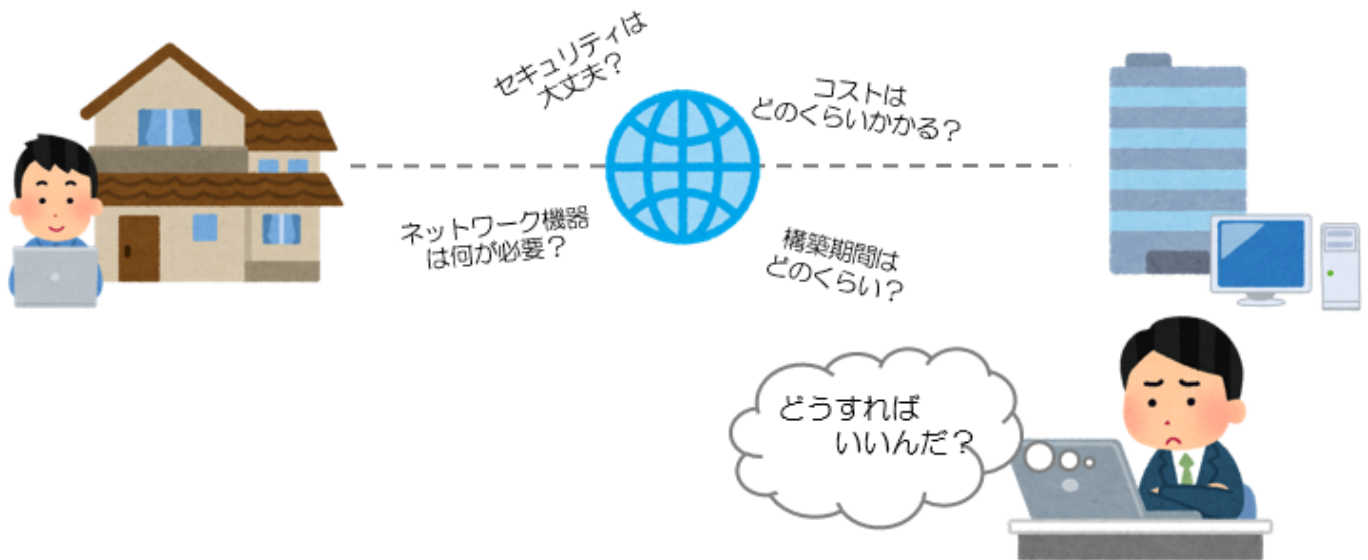
当社でもついにブログを立ち上げることになりました！ まだ手探りな部分も多いですが、役立つネタを提供していけるよう頑張りたいと思います o(^0^)o

さて、記念すべき第1回は AWS Client VPN についてです。今回は構成など概要に絞ったお話とし、設定等については次回以降で説明したいと思います。

経緯

これまでも、FortiGate を利用して社外からリモート接続できるような環境はありましたが、「積極的に AWS を活用していきたい！」という思いから、AWS Client VPN でリモート接続環境を構築することにしました。

・・・とは言ったものも、私は少し前まアプリケーションの設計・開発が主な仕事だったのでインフラの実務経験はゼロ。。。VPN の概念は知っていても、構築したことはないし、ネットワークも得意じゃないし、不安だらけのスタートでした。



そもそも VPN って・・・

VPNについて調べ始めると、xxVPN という用語が結構出てきたので、昔覚えたネットワーク用語の整理も兼ねて、今一度おさらいをしてみました。

会社とデータセンターなどのように特定の場所同士で接続するのが「サイト間 VPN」、場所を固定せずクライアント PC に入れた VPN ソフトを利用して接続するのが「リモートアクセス VPN」です。

■サイト間VPN



■リモートアクセスVPN



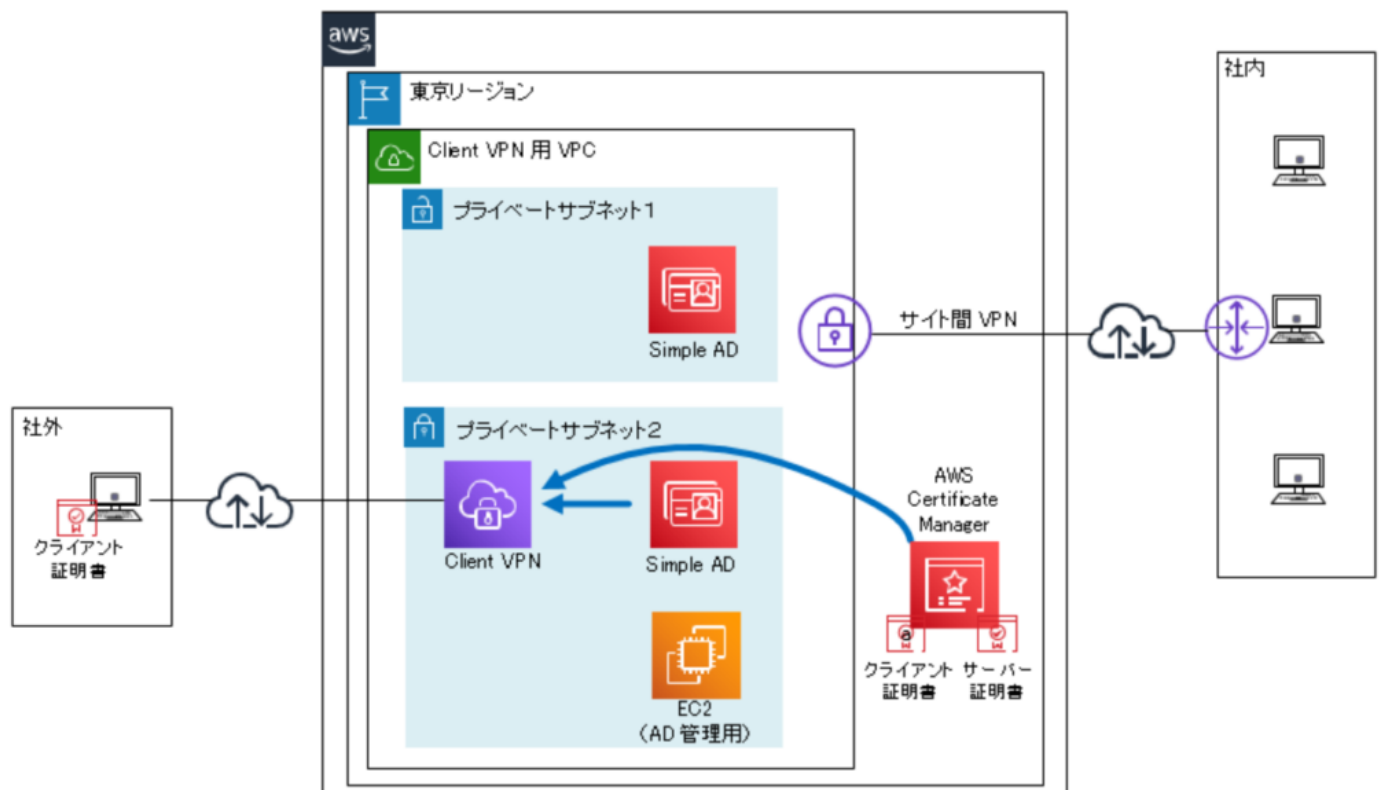
今回構築する環境は、クライアント（自宅）と AWS の間を AWS Client VPN を利用した「リモートアクセス VPN 接続」とし、AWS と 会社の間は「サイト間 VPN 接続」となります。



AWS を利用してリモート接続環境を構築する場合、下記のようなメリットがあります。

- 他のサービスを利用して監視ができる
- マネージドサービスなので、管理の手間が省ける

今回の構成



AWS Client VPN とサイト間 VPN を利用することで、クライアント⇔AWS⇔会社がネットワークで繋がるようになります。これにより、AWS 環境内にある何かのサーバを踏み台にすることなく、自宅から直接社内の PC へリモートデスクトップ接続できるようになります。

そのほかでは、認証のために AWS Certificate Manager と Simple AD を利用しています。詳細については、次回以降で説明したいと思います。

構築期間

私の場合、AWS のマニュアルを読んだり、いろんなサイトをチェックしたりしたので、なんやかんやで 1 週間近くかかりましたが、手順が分かっていたら、1 日あれば最低限利用できるところまで構築できると思います。

料金（2020/08/17 時点）

東京リージョンで構築した場合の料金は下記の通りとなります。

■AWS ClientVPN

エンドポイント : 0.15USD / h × 関連付けたサブネット数
接続 : 0.05USD / h × 接続数
→ 1つのサブネットにおいて、10名（1日8時間×20営業日）
1か月間（30日）接続した場合 : 188 USD

■サイト間 VPN

0.048USD / h × サイト間 VPN の数

→ 1つの サイト間 VPN で 1 カ月接続した場合 : 34.56

■AWS Directory Service (Simple AD でスモールの場合)

0.08USD / h × ~~2~~ (ドメインコントローラが2つ作成され)
→ 1か月間（30日）接続した場合 : ~~115.2 USD~~ 57.6 U

■AWS Certification Manager

無料

なんとなく構成は分かっていただけでしょうか？次回から、各サービスの設定について説明していきたいと思います。

2021/07/07 追記

本文中「 ■AWS Directory Service (Simple AD でスモールの場合) 」にて記載した時間単価（0.08 USD）ですが、ドメインコントローラ2つ分の料金となっておりましたので修正いたしました。大変失礼いたしました m(_ _)m

